

ベランダ菜園がヒートアイランド現象の緩和に役立つか、温度を測って考察しよう

期間目安	2〜3日	費用目安	低〜中
研究タイプ	観察・データ分析	対象学年	中学生（1人〜グループOK）

1. この研究のねらい

ベランダでミニトマトを育てている場所と、植物がない場所の表面温度を比べ、緑がヒートアイランド現象の緩和にどれくらい役立つかを考察します。

2. 仮説を立てよう

実験・調査の前に、自分なりの予想を立てておきましょう。例えば：

- 植物がある場所の方が温度が低いのではないかな

ポイント：予想が外れても問題ありません。「なぜ予想と違ったのか」を考えることが自由研究の面白いところです。

3. 準備するもの

- 温度計（非接触型があれば便利）
- 記録シート
- カメラ

4. 進め方（2〜3日プラン）

1日目	測定方法を決めて最初の測定を行う
2〜3日目	時間帯を変えて複数回測定する

5. 記録シートの例

場所	時間帯	気温・表面温度	天気

※このフォーマットを1回分として、記録のたびに行を増やしていきましょう。

6. 進めるうえでの注意点

- 同じ時間帯・同じ条件で複数箇所を測る
- 日陰と日なたの違いも考慮する

7. まとめ方・考察のポイント

- 緑化とヒートアイランド緩和の関係について考察する

8. レポートの構成例

- 表紙：研究テーマ、氏名、学年、日付
- 研究の目的・きっかけ：なぜこのテーマを選んだか、何を知りたいか
- 仮説：実験・調査前に立てた予想
- 準備したもの・方法：使った道具・材料、実験や調査の手順
- 結果：記録表、写真、グラフなど
- 考察：結果からわかったこと、仮説との比較、理由の推測
- まとめ・感想：研究を通して学んだこと、次にやってみたいこと
- 参考にした資料：本やウェブサイトなど（あれば）